

令和4年度 全国公立学校教頭会 ブロック大会報告

I 大会名称 第55回北海道公立学校教頭会研究大会 小樽大会

II 開催期日・場所 令和4年9月16日(金)

III 日程・大会の概要 (オンライン開催)

1. 日程	開会式・大会オリエンテーション	9:30~10:30
	記念講演	10:30~12:00
	分科会 (閉会式含む)	13:10~16:20

2. 概要

(1) 研究主題 「未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり」

～夢をもち未来を創り出す力を育む 活力ある学校づくりの推進～

(2) 主催 北海道公立学校教頭会 主管 小樽市教頭会

(3) 後援 北海道教育委員会 北海道小学校校長会 北海道中学校校長会 小樽市
小樽市教育委員会 後志町村教育委員会協議会
小樽市校長会 後志小中校長会 後志小中学校教頭会

公益社団法人日本教育会 公益財団法人日本教育公務員弘済会北海道支部
北海道PTA連合会 小樽市PTA連合会 全国公立学校教頭会 (順不同)

(4) 開会式 ① 開式の言葉 ② 挨拶 ③ 閉式の言葉

式終了後 大会オリエンテーション(北海道公立学校教頭会 研修部長)

(5) 記念講演 演題 「北海道の未来を創る教頭へのエール～『樽僑』のエネルギーを今こそ～」

講師 NPO法人ほっかいどう学理事長 新保 元康 氏

(6) 分科会 分科会 ①教育課程に関する課題 ②子どもの発達に関する課題

③教育環境整備に関する課題 ④組織・運営に関する課題

⑤教職員の専門性に関する課題

特別分科会 <基調講演> 演題 地域振興と教育の役割

～コミュニティ・スクールと『地域』創生～

講師 北海道科学大学教授 出口 寿久 氏

IV 大会に参加しての感想等

当初は、参集形式での開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン形式での実施に変更し、大会を運営する主管の小樽市教頭会と道公教事務局員のみが参集して実施した。全道各地から800名を超える教頭が参加し、分科会においては、事前の分担に従って各分科会2提言を行った。また、昨年度は実施できなかった「ブレイクアウトルーム」の機能を活用して、1グループ7～8人によるグループ協議を行うことができ、各分科会の協議の柱に沿って提言について考えを交流、深めるとともに、教頭としてより確かな考えの構築や組織マネジメント力の向上等につなげられたと考えている。記念講演は、地元小樽出身で札幌市の教員、教頭、校長を勤めた先生を講師としてお迎えし、教員の成り手が激減している中、待ったなしの「働き方改革」とICTの活用について、事実とその対応の理念、具体的取組について伺うことができた。特別分科会の講演も含めて、まさに今取り組むべき課題について、教頭としてどのように関わりマネジメントしていくか、という内容であり、教頭にとって生きて働く内容であった。オンラインとはいえ、熱心に意見を交流することができた本大会は、十分ねらいを達成し、成功裏に終えたと言えると考えている。

